



浄土真宗東本願寺派  
野中山 正山寺

# ほっ寺通信

第8号 (特別編集版)  
平成27年12月1日  
<発行責任者> (住職) 藤野慶正

## ■開山四百年記念事業

皆さんこんにちは。正山寺の新住職 藤野慶正です。  
この度、無事に記念事業の全てを終えることが出来ました

こと、報告させていただきます。11月1日の記念法要も沢山の有縁の方々にお集まり頂き、晴天下、温かく見守られながら、一連の行事を滞りなく終えることが出来たこと、誠に有り難く感無量でございます。

思えば2年半程前に、世話人様達と共に、手探りの状態からこつこつと計画を練り実行して参りました。お陰様で、ご無理を承知でお願いした寄進勧募も、多くの方々に御協力頂き、659件2,588万円もの御懇志が集まるに到りました。誠にありがとうございます。今年に入り各種工事の施工等、めまぐるしい日々を過ごして来ました。そして、無事に全ての工事も予想を上回る出来映えで完成し、見違えるような境内になっておりますことは、既に皆様ご存じの事と思えます。

今回の寺報「ほっ寺通信」は、いつもと違い横書きフルカラーの特別編集版でお送りさせていただきます。写真を多く取り入れ、記念事業の各種工事の完成模様、又、記念法要当日の模様を主体にお送りします。お楽しみ頂ければ幸いです。



四阿と新休憩所



本堂 (外装補修) と親鸞聖人立像



## ■新休憩所

外に四阿を新設し、気軽におくつろぎ頂ける場としました。休憩所も全面リニューアルし、多目的トイレも設置しています。中は土足OKとし、外の眺めも楽しめる明るい基調の空間としています。  
また、一日一組のみですが会食の場としても使ってもらえます。(ご相談下さい)



## ■永代供養墓

本堂外左側面に、永代供養墓を新設しました。本堂地下の納骨堂もリニューアルし、永代供養の合同棚と納骨壇を新設しています。  
詳しくは、パンフレット「正安の縁」を同封させて頂きましたのでご覧下さい。永代供養にご関心のある方は、気軽に寺までお問い合わせ下さい。



■打ち合せ中



■受付開始



受付



■晴天に恵まれて



■住職襲職奉告法要



■親鸞聖人立像除幕式  
※除幕の紐を引く前に  
白布が自然にスラーっと落ちてしまう  
ハプニング発生!! (笑)



■朗読劇「恵信尼ものがたり」



■ 集合写真  
(寺族・法中・世話人)

平成二十七年十一月二日  
正山寺開山四百年  
第十四世住職襲職奉告



■ ご挨拶



■ 記念法要



■ 記念法話



■ 行道散華



■ これからも正山寺を  
宜しく願います



■ 余興 (手品)



■ 祝賀会 (乾杯)

野中山 正山寺  
開山四百年記念祝賀会

## ■新住職挨拶

(記念法要当日の挨拶)



この度は、この記念すべき正山寺開山四百年の記念法要にご参加頂きまして、誠にありがとうございます。僭越ながら、午前中の住職襲職奉告法要にて、正山寺第十四世住職を襲職(継職)させて頂きました。まだまだ若輩菲才ではございますが、皆様にとって、敷居の低い、ホッと出来るご縁の場と感じて頂けるような、そして、「このお寺で良かったね」と心から思ってもらえるようなお寺となるよう、寺族共々努めて参りたいと思っております。

実は私、毎日目にし、気に掛けている言葉があります。折角ですので、紹介させて頂きますと、この本堂左奥に大きな二字の書が見受けられるかと思いますが何と書かれてあるか分かりますか?(右写真)

これ、檀家さんに揮毫寄進して頂いたのですが、「無倦」と書かれています。無倦とは、有る無しの有無の無に、



人偏に巻くと書く「飽きる・怠る」といった意味の倦、ご夫婦で言えば、倦怠期の倦ですかね・・・スミマセン、例が悪いですね。(笑)

ですので、無倦とは「飽きることなく・怠ることなく」といった意味になる訳です。これ、皆さんご存じの正信偈にも出てくるフレーズでもあります。後半の方に「大悲無倦常照我」とありますね。

「阿弥陀様は、常に怠ることなく慈悲の光を私に照らして下さっている」ということでしょうか。

ここでの無倦は、どんな私たちであっても見捨てることのない阿弥陀様が使うのに相応しい言葉ですから、私などが使うのは勿体ない言葉ではありますが、誰しもが、何に対しても、無倦であるように努力することは大切なことではないでしょうか。

私は、毎朝の勤行時に、この無倦を感じつつ、一日を過ごそうと心新たにさせて頂いています。

なんと有り難いことでしょうか。皆様も、この「無倦」、正山寺の新住職がしつこく言っていた・・・でも構いませんので、是非とも脳裏に焼き付けて、お持ち帰りになって頂けたら幸いです。

少々脱線してしまいましたが、本日は本当にありがとうございました。

皆様あつての正山寺でございます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。(平成27年11月1日)

## ■新坊守コラム

正山寺開山400年記念法要、そして住職襲職法要を無事終えることができました。今回に合わせまして、親鸞聖人の立像、休憩所、四阿等、準備できました事は、皆様のご協力あつてのことです。深く感謝し、この場をお借りして、御礼申し上げます。

当日の行動を懸念していた三歳四ヶ月になった息子。予想通り?こちらの思うようにはいかず、逃走しておりました(笑)。住職襲職法要の時も座っていられず抜け出し、最初の記念写真の時には、駆け回って、写真に収まることすら出来ませんでした。

そして、昼食用に皆さんにお配りしたお赤飯のお握りや草餅。大人の方でも残してお持ち帰りされた方がいるかと思いますが、大地は、親の居ぬまに黙々と完食してしまったようです。周りの大人がびっくりしてました。集合写真を嫌がった大地も時折カメラマンさんと仲良くなり良い写真を撮って頂きました。後日「大地君の一日」という写真集を作って頂き、とても良い記念になりました。

あっという間の一日で、行き届かない点もたくさんあり、ご迷惑をお掛けした点もあったかと思いますが、世話人様の臨機応変な対応に助けられ、なんとか記念行事を無事終える事が出来て、ほっとしている所です。

新住職も正山寺をもっと皆さんの身近に感じてほしいと模索中です。微力ながら、支えていきたいと思っております。

今後共、宜しくお願い申し上げます。

## ■あとがき

今回の寺報、いつもの2倍の分量とは言え、写真が大半ですね。膨大な写真の中から厳選したつもりですが、お楽しみ頂きましたでしょうか? 記念法要を終え、平穏な日々に戻れるかなと思いつつも、事後処理も多く、この寺報で以てやっと落ち着きを取り戻してきました。とは言え、これで終わりではなくこれからが大切です。「無倦」を忘れずに努めて参りたいと思っております。次回の寺報は、来年3月頃発行予定です。師走に入りお忙しいことと思っておりますが、呉々もご自愛下さい。合掌(住職)

只今逃走中!



寺報「ほっ寺通信」第8号(特別編集版)  
平成27年12月1日発行

浄土真宗東本願寺派  
野中山正山寺

住職: 藤野慶正(発行責任者)

住所: 〒194-0201

町田市上小山田町1504

電話: 042-797-1446

FAX: 042-797-9233

URL: <http://shousan.net>

メール: [info@shousan.net](mailto:info@shousan.net)